

# ネイチャーセンターだより 2・3月号

今年の冬は暖冬のようなですね。その影響で、根室の自然もいつもの冬とはちょっとかわっています。風蓮湖や温根沼の一部は結氷せずに、2月にはいっても水面が見えています。冬の漁や、冬に訪れる動物たちの生活にも影響が出ているようです。いつもの冬との違いを探りながら、春国岱を歩いてみるのも楽しいですよ！（H）



## イベント News ・ にゅーす



12月6日（土）に「冬の春国岱サンセットライブ」を開催しました。このイベントはネイチャーセンターの施設ボランティアグループ「スルク」が主催するイベントで、スルクのメンバーとネイチャーセンターのスタッフが一緒になって準備を進めてきました。当日の演奏は、道東を中心に活動を行っている「ニナ・マルカ」にお願いしました。ニナマルカは南米の民俗音楽のフォルクローレ（コンドルは飛んでいくなどが有名です！）を演奏しているバンドです。ケーナという管楽器やチャランゴという弦楽器など普段なかなか聞くことができない楽器を駆使しての演奏です。広報を開始したのがイベントの一週間前

ということもあって、開催までは「お客さんが集まらなかったらどうしよう」と心配していました。しかし当日は100人以上が集まる大盛況で、さすがにスタッフルームのいすや外のベンチを持ってきたほどでした。ニナマルカのメンバーがかなでる暖かな音楽は冬のネイチャーセンターの雰囲気 matches して、とても心地のよい時間を過ごせました。お客さんからも好評で、またこのようなイベントを開催してほしいとの希望も多数いただきました。来年度もコンサートなど楽しいメニューを提供できるようがんばっていきます。（H）



## ネイチャーセンターだよりメールによる配信についてのお願い

いつもネイチャーセンターだよりをご愛読いただきまして、ありがとうございます。

このたび、通信誌の郵送料削減と省資源を目指し、一部ネイチャーセンターだよりをメールにて（ファイル形式はPDFファイル）配信することにしました。つきましては、今後 e-mail をお持ちの方で、ご協力いただける方にはメールでの配信に切り換えさせていただきたいと思っております。もちろん e-mail をお持ちでない方、また郵送による発送をご希望の方には今後とも郵送にて配信させていただきます。

ご希望される方は下記のアドレスまで、各自のアドレスをお知らせください。ご協力お願い申し上げます。

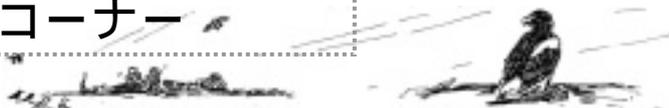
連絡先： [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

イベントの申込み・問い合わせは・・・電話でネイチャーセンターへ！

ネイチャーセンターのイベントは申し込み制になっております。また、イベントによってはみなさんに用意してほしい服装や道具などがありますので、参加を希望される方はかならず受付期間内に電話（0153-25-3047）か、直接ネイチャーセンターのカウンターでお申込みください。



## おもしろ自然コーナー



### 出会い

1月の中旬、根室の厳しい冬を生きぬく鳥たちを観察するイベントを開催しました。当初は、風蓮湖の氷上を歩き、氷下待網漁に集まっているオオワシ・オジロワシを予定で準備を進めていました。しかし、今年は暖冬の影響で、湖がしっかりと凍らず、氷上トツレキングは断念しました。「しばれてきたから、明日は漁を再開できるかもな～。でも、危ないといっぱいあっから、歩けねーぞ」前日の下見で、パラパラとワシが降りている湖面を漁師さんと眺めながら「ワシの群れはそれほど期待できないだろうな～」と思いつつ話をしていました・・・。

しかしイベント当日、ふたを開けてみれば、風蓮湖の氷上には満員電車に人がひしめきあうようにたくさんのおオオワシ・オジロワシの姿がありました。ざっと数えてみて、合わせて500羽以上はいます。1箇所ですぐこれだけのワシが観られたのは初めてです。ぬけるような青空のもと、雪化粧した国後島をバックに、

風蓮湖の湖面にはものすごい数のワシたち。あまりの雄大な光景にしばし参加者とともにいることを忘れ、呆然とその様子を見ていました。漁師さんの話では、これだけ湖が凍らなかったのは初めてとのこと。もしかすると来年以降このような光景は二度と見られないかもしれません。気候、天候、結氷の程度、ワシの腹具合、漁師さんの気分、様々な偶然が重なってこの光景に出会えたのでしょうか。

私が自然を歩くのは、動物や植物、風景・・・との多くの素敵な「出会い」を求めているからだと思えます。期待以上の出会いがあれば、喜びは何倍にも大きくなります。風蓮湖・春国岱はそんな期待以上の「出会い」を数多くさせてくれる貴重な場所だと思います。多くのワシ達が息衝く厳冬の風蓮湖・春国岱の勇壮な自然の中に身をおいてみてください。いてつく寒さも忘れてしまうくらい大きな感動をきっと得られるでしょう。(H)

ネイチャーセンター

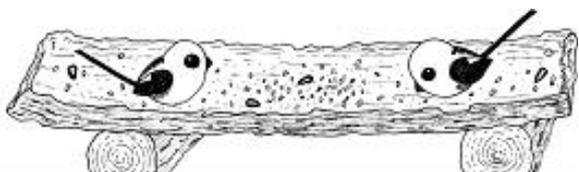
## 森で・NCで みよ、あそぼ

### 今月のネイチャーセンター

#### ネイチャーセンター餌台情報

ネイチャーセンターに餌台を設置してからシジュウカラ、ハシブトガラなどのカラ類や、アカゲラ、コゲラなどのキツツキの仲間が毎日やってきます。

1月になってからはとてもかわいらしいシマエナガがちらほらと姿を見せるようになりました。そして、オオアカゲラが1月の中旬からほぼ毎日のようにやってきています。ネイチャーセンターの餌台では初めての記録です。普段森を歩いている時でも中々お目にかかることが出来ない鳥です。餌台ではこのオオアカゲラがアカゲラと一緒に姿を見せることもあります。オオアカゲラは名前の通り嘴も尾羽もアカゲラと比べてみると大きく立派で迫力があります。運良く2種類同時に訪れていれば、2種類の違いを目の前でじっくり観察できます。(H)



### 自然のみどころ情報

#### 森から海へ移動するシカ達

シカが越冬する根室では、冬に数多くのシカを見かけます。車で走っていて、危なくシカをひいてしまいそうになった人（もしくは引いてしまった人）も多くいると思います。私もネイチャーセンターのすぐ近くで危うく～！ということがありました。ネイチャーセンターから春国岱を眺めていると、お昼を過ぎたころから、次々とシカが森から湿原を通過して、海辺の草原へ向かっていく姿を見ます。海辺にわざわざやってきて何をしているのかというと、海岸の草を食べるためにやってきています。ざっと数えて50頭以上は毎日やってきているようです。ネイチャーセンター近くの国道44号線付近でよく見かけているシカは、春国岱の海辺に食事のため向かっているシカ達かもしれませんね。(H)

#### オオワシ・オジロワシは？

氷下待網漁が1月の中旬に再開して、オオワシ・オジロワシが風蓮湖の氷上に集まってきています。1月18日には1箇所ですぐ約500羽を観察できました。これから2月がワシ類が一番集まってきます。(H)



こんなのいたよ!

# 春国岱の自然情報板



## ユキホオジロ

今年も春国岱にユキホオジロがやってきています。春国岱先端部のハマニンニクの草原に20羽ぐらいの群れています。ユキホオジロの群れの中にツメナガホオジロが見られることもあります。

## アニマルトラック

木道を歩いていると、雪原や森の中に動物たちが残していった、こんせきを見ることが出来ます。一番見かけるのはシカのあとです。足跡やふん、樹皮を食べたあとなど…。他にもキツネやリス、ネズミがつけていった、こんせきが見られます。

アカエソマツコース  
キタキツネコース

ハマナスコース  
展望台

風蓮湖

ヒバリコース

R44

## エゾシカ

14時ぐらいになると、森から草原に移動するエゾシカの群れを観察できます。少し凍った氷上を、コースを見定めながら次々と渡っていきます。ネイチャーセンターの望遠鏡で観察できます。



## 氷下待網漁

2月の中旬で500羽弱のオオワシ・オジロワシが観察されています。多くのワシが訪れていますが、昨年と比べると半分の数です。網があまりはいっていないことが原因でしょう。



## オオアカゲラ

餌台に、アカゲラを一回り大きくしたような、オオアカゲラがやってきています。どうやら定着したようで、2月はほぼ毎日のようにやってきています。また、昨年はあまり姿を見せなかったヤマゲラも訪れています。運がよければ、一緒に餌台にやってきている姿を観察できるかもしれませんよ。

オホーツク海



ネイチャーセンター

小島の小道

自然学習林

## いまから・これから ~自然“予報”~

オオワシ・オジロワシは現在500羽弱訪れています。春国岱の先端付近では、ユキホオジロ・ツメナガホオジロが見られます。ただし春国岱の先端までは8kmありますので、観察は車で先端まで行くことが出来る走古丹がお勧めです。今年はいまだ温根沼にタンチョウが2つがい残っています。このまま越冬するかもしれませんね。今年は流水が着岸するか微妙なところです…。

これから3月中旬には鶴居村などで冬を越したタンチョウが帰ってきます。風蓮湖の氷が溶け始めると、南からカモやオオハクチョウが渡ってきます。(H)

この行事は、無雪期では入れない春国岱の森の奥を  
 抜け、氷った湿原の上を歩いて普段は見る事ができ  
 ない風景に出会えるのが、最大の魅力です。まずは  
 一週間前に4人で下見。コースと観察素材の確認が  
 目的です。今年は暖冬のため氷の状況が心配でした  
 が、やはり氷は薄く、昨年まで氷の上を横断していた  
 中谷地（第二砂丘）あたりは、まだ水面が見えていま  
 す。コースを変更し、第一砂丘まで出て戻ることにし  
 ました。いつもより2kmくらい遠回りです。第一砂丘  
 は吹きさらしのところが多く、風が強ければ相当消耗  
 します。全行程約12km、たくさん歩いて最後に難所。  
 当日がちょっと心配でした。

途中の森で、地面に5cmくらいの長さのマツの小枝  
 がたくさん落ちていました。モモンガの食べ痕でこう  
 いうのがあるそうです。近くを探してみましたが、モ  
 モンガが利用しそうな木の穴や、糞は見つかりません  
 でした。枝を持ち帰ってスタッフで話していると「これ  
 ってアカエゾマツの葉じゃないみたい」。図鑑で見ると  
 エゾマツのようですが、春国岱ではエゾマツの記録  
 がありません。??その場では分からず、宿題となり

## お知らせ

- ・春国岱にある2つの木橋のうち、奥にある橋は撤去し、通ることができません。ご注意ください。
- ・木道が一部雪解け水などで朽ち、数ヶ所穴があいている部分があります。随時、簡易補修はおこなっていますが、修繕が追いつかない現状です。歩かれるときには足元に十分お気をつけください。

## 10人以上集まったら！ 春国岱ネイチャーセンターの 団体利用のおすすめ

春国岱ネイチャーセンターは団体で楽しくご利用いただけます。たとえば...

春国岱の四季を紹介するスライド上映を見学して、自然についてレクチャーを受けたり(25分)、  
 根室の自然や動物についてさわれる標本やゲームで楽しく学ぶことができたり(20分～1時間)、  
 20名までの自然学習が目的の団体なら、春国岱や学習林で野外での解説を受けたり(1～2時間)、  
 自然やテーマによっては、レンジャーの出前講演なども可能です(要申込・日程調整)。

...学校団体で、子供会で、サークルで、ぜひご利用ください。

\*利用には申込みが必要です。詳細はネイチャーセンター(25-3047)までお問い合わせください。

ました。

行事2日前に1人でコースの最終確認に行きまし  
 た。中谷地はやはり水面が見え、遠回りのコースが  
 確定です。センターに戻ると、当日ボランティアスタ  
 ッフをお願いしている営林署勤務のTさんがいて、「ア  
 カエゾマツは、美を見れば分かります」「拾っ  
 てきました」「これはエゾマツです！」春国岱の植物  
 は公園計画を作る際に調べられていましたが、1本1  
 本全ての木が調べられたわけではありません。たまた  
 ま別の視点で見ていて、思わぬ発見となりました。分か  
 らないことと言えば、この枝を誰が落としたのか？イ  
 スカという鳥もマツ類の芽を食べ、こういう食べ痕に  
 なるそうです。これも結論は出ませんでした。

行事の準備で下見に行くのは、とても楽しいです。  
 行事本番で春国岱の魅力をどう伝えるか、これには  
 頭を悩ませます。  
 当日の様子は、次号  
 の行事報告をお楽しみに(〇)



## 春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

〒086-0074 根室市東梅 103 番地  
 TEL 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570

- ・入館無料(双眼鏡無料貸し出しあり)
- ・開館時間 4月～9月 9:00～17:00  
 10月～3月 9:00～16:30

・ホームページ

[http://www.marimo.or.jp/nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/nemu_nc/workn/index.html)

・e-mail : [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

2003.2.発行

## 2月・3月の休館日

\* 毎週水曜日はネイチャーセンター休館日です \*

<2月>

休館日: 4日、12日、13日、18日、25日

(12日は11日建国記念の日の振替です。

13日は11日(水)が祝日のため休館です。)

<3月>

休館日: 3日、10日、17日、22日、24日、31日

(20日は21日の<春分の日>の振替休館です。)